



# 日本外傷学会ニュースレター

*January 2026 No.37*

## CONTENTS

公告(次期の選挙理事および監事の選任に関する選挙について) .....	2
第40回日本外傷学会総会・学術集会(第3次会告) .....	3
議事録 .....	6
各種お知らせ(論文を投稿される方へ / 事務局からのお知らせ) .....	8
日本外傷学会 入会のご案内 .....	10



故 長 谷 部 正 晴 先 生

1947年 8 月11日生

2025年10月28日逝

### 故 長谷部正晴先生のご逝去を悼んで

日本外傷学会名誉会員である長谷部正晴先生が、令和7年10月28日、享年78歳にてご逝去されました。ここに日本外傷学会を代表し、先生のご功績を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

長谷部正晴先生は、日本外傷学会の発展に多大なご貢献をなさいました。1995年から18年にわたり評議員を務められ、1998年からは理事として本学会の運営に尽力されました。外傷研修システム検討委員会、編集委員会、評議員選出委員会、会則委員会などの委員を歴任され、長年にわたり精力的に学会活動を推進されることで、わが国の外傷学の発展を力強く支えてくださいました。特に本学会の前身である日本外傷研究会の立ち上げ時にはその事務局業務を担当され、現在につながる事務局体制の基盤構築に多大なるご貢献をなさいました。

学術領域においては、外科侵襲学の観点から多くの研究を行われ、外傷医療における代謝・栄養管理をはじめとする分野の発展に大きな業績を挙げられました。

長谷部正晴先生が外傷学の発展に果たされた多大なご功績に対し、学会員一同、深甚なる感謝の意を表するとともに、先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

一般社団法人 日本外傷学会  
代表理事 渡部 広明

2026年1月20日

## 公 告

一般社団法人 日本外傷学会  
評議員各位

一般社団法人 日本外傷学会  
代表理事 渡部 広明

### 次期の選挙理事および監事の選任に関する選挙について

日本外傷学会定款第17条に基づき、次期の選挙理事および監事の選任に関する選挙を下記の通り行います。

#### 記

選出される役員：

選挙理事 10名以内（任期2年）  
監 事 2名 （任期4年）

選 挙：

2026年6月10日の社員総会に出席した評議員の投票によって行われます。

被選挙権（立候補資格者）：

1. 定款第17条（役員の選任及び選定）により、理事および監事は評議員\*の中から選任されます。
2. 2026年3月31日までに満65歳となる方は、被選挙権はありません。
3. 定款第19条（任期）により、任期連続3期の理事は、選挙理事の被選挙権がありません。

\* 立候補資格者は次期評議員（任期2026年4月1日～2030年3月31日）が対象となります。対象者は学会ホームページに掲載いたします。

届 出：

立候補者は、定款施行細則第25条（届け出）により、選挙公告の当月から2026年3月15日（消印有効）までに、所定の立候補届を書留郵便にて事務局まで届け出てください。なお、立候補届は下記よりダウンロードしてください。

[理事・監事立候補届](#)（Word）

立候補届出先：

〒169-0072 東京都新宿区大久保2-4-12 新宿ラムダックスビル9階  
(株)春恒社 学会事業部内 一般社団法人 日本外傷学会事務局

以上

# 第40回日本外傷学会総会・学術集会（第3次会告）

第40回日本外傷学会総会・学術集会

会長 井口 浩一

（埼玉医科大学総合医療センター高度救命救急センター教授）

このたび、第40回日本外傷学会学術集会を、2026年6月11日・12日の両日、大宮ソニックシティにて開催させていただく運びとなりました。このような大役を仰せつかり、光栄に存じるとともに、身の引き締まる思いで準備に取り組んでおります。

本学術集会のテーマは「Harmony in Diversity（多様性の中の調和）」です。医療現場では、今まさに多職種連携の重要性が一層高まっており、外傷診療においても各職種が互いを尊重し、専門性を発揮し合うことで、より良いアウトカムに直結するものと確信しております。また、地域の特性や医療資源の違いにより治療戦略には多様性がありますが、その中でいかに調和を保つかが今後の外傷医療の深化につながると考えます。

私自身は、整形外科と救急科の専門医として、これまで両領域の架け橋となることを意識しながら診療に従事してまいりました。働き方改革の影響により、緊急手術や重症外傷患者の受け入れが困難となる医療機関も増加傾向にありますが、これは危機であると同時に、外傷医療の集約化を進める好機とも捉えることができます。実際、緊急手術が可能な施設への異動を希望する医師も増えており、診療看護師や特定行為看護師との連携も広がりつつあります。

近年、頭部・胸部・腹部外傷に対する緊急手術は頭打ちの傾向にありますが、整形外科領域では高齢者の低エネルギー外傷による脊椎損傷、骨盤骨折、大腿骨近位部骨折の増加が続いています。これらの患者には、適切な手術タイミングや周術期管理を再考する必要があります。現状では、preventable trauma disabilityが見過ごされがちですが、私たちはこれに真剣に向き合うべきです。

重症外傷に加え、高齢者外傷に対する緊急手術への取り組みを本学会がリードすることで、日本外傷学会は真の「Game Changer」となり得ると確信しております。

本学術集会では、専門分野や職種を超えた実りある議論と新たな連携の芽が生まれることを願い、全力で準備を進めてまいります。多数の皆様のご参加を、心よりお待ちしております。

**会 期** : 2026年6月11日(木)～12日(金)

**会 場** : 大宮ソニックシティ  
(〒330-8669 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5)  
JR 大宮駅西口より徒歩約3分

**ホームページ** : <https://www.congre.co.jp/jast2026/>

## プログラム（予定）:

下記以外のプログラムも講演内容が決まり次第、随時ホームページにてお知らせいたします。

### 【会長講演】

「多様性の中の調和」へ

### 【フォーラム】

「急性期と慢性期の頸髄損傷治療」

救急医、脊椎脊髄外科医、リハビリテーション医の座談会

## 【トークセッション】

頚髄損傷～医師と患者のあいだ～

## 【教育研修講演】

## 【シンポジウム・パネルディスカッション他】

下記のセッションを企画しています。

### ■シンポジウム

- ・外傷診療の“離”を探る
- ・外傷診療におけるダイバーシティと協働－男女共同参画・多職種・タスクシフト
- ・外傷病院前診療の“less is more”～施設発のエビデンスから再考する～

### ■パネルディスカッション

- ・泌尿器外傷 Up to Date － IVR, 尿管ステント, 外科的修復のバランス
- ・高齢者外傷のフロンティア～脆弱性と重症度に挑む集中治療～
- ・脊髄損傷の初期診療～脊髄損傷患者の未来は変えられる！
- ・多発外傷における頭部外傷マネジメント －治療優先順位と脳神経外科的介入の最適化－
- ・院内救命士×医師で描く外傷診療チームの未来～現場力の最大化を目指して～
- ・Life-threatening multiple trauma における救肢か切断の判断と時期
- ・外傷外科の取り残されたフロンティア －鏡視下手術で切り拓く未来
- ・脾損傷は語り尽くされたのか？ 今だからこそ議論すべきこと

### ■委員会企画セッション

- ・トラウマレジストリー検討委員会 / 外傷診療施設評価委員会共同企画  
～わが国の外傷診療はこのままで良いのか？ AIS coding の適正化へ～
- ・外傷診療ガイドライン作成委員会企画 EAST 日本版作成中！
- ・多施設臨床研究委員会企画
- ・臓器損傷分類委員会企画

### ■【40th JAST 特別企画】

- ・徹底症例討論「機能予後まで意識したチャンピオンケース！これぞ外傷治療の醍醐味だ！」

### ■ワークショップ

- ・救えなかったまではいけないけれど・・・しくじり先生，私を見て学べ！
- ・ダブルボードのリアル～どんな未来を描きたい？～

### ■他学会合同セッション

- ・日本脳神経外傷学会合同セッション
- ・日本整形外傷学会合同セッション
- ・日本 IVR 学会合同セッション
- ・4 領域合同セッション（心臓血管外科 / 産婦人科 / 輸血細胞療法 / 外傷）

### ■KST セッション（Dr/Nrs）

### ■ハンズオンセミナー

- ・創外固定 / IVR（コイリング） / ICP / ハローリング
- ・日本整形外科超音波学会共催セミナー

### ■シンポジウム関連セッション

- ・外傷診療の“離”を探る

### ■若手医師・研修医セッション

### ■一般口演（公募）

### ■ポスターセッション（公募）

「Harmony in diversity」企画：

- ①懇親会は鉄道博物館を貸し切りました。特別イベントも企画中です。  
鉄道博物館のSL「C57形蒸気機関車」のヘッドマークのデザインも公募しています。  
公募で選ばれたデザインは、懇親会にてお披露目&記念品を贈呈いたします。
- ②託児所の充実化を図っております。
- ③会場のフロアに kids スペースを作成します。
- ④お子さんと外傷診療を体験する Kids trauma code というイベントを企画しています。  
来場者には記念品をプレゼントいたします。
- ⑤ Kids trauma code 会場の一部は上級演題のライブ配信も行います。
  - \*③～⑤の詳細は後日ホームページにてご案内いたします。
  - \*講演会場へのご参加も可能ですがセッション進行の妨げにならないよう、ご配慮ください。

〈参加についてのご案内〉

- ・参加登録の開始は2026年4月8日(水)を予定しています。
- ・当日の服装について  
ネクタイ、スーツ着用は一切不要です。
  - \*短パン、サンダル履きはお控えください。
  - \*座長、演者、企業の皆様もご協力をお願いいたします。

**学術集会事務局：**埼玉医科大学総合医療センター高度救命救急センター  
〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981

**運営事務局**：株式会社コングレ  
〒103-8276 東京都中央区日本橋 3-10-5 オンワードパークビルディング  
TEL：03-3510-3701  
Mail：jast2026@congre.co.jp



# 一般社団法人日本外傷学会2025年度第2回定例理事会議事録

日 時：2025年9月29日（月）12：30-15：30

会 場：WEB 会議（Zoom による WEB 会議）＋春恒社会議室

出席理事：井上 潤一，井口 浩一，加地 正人，原 義明，船曳 知弘，水島 靖明，森下 幸治，  
横堀 将司，渡部 広明  
出席監事：金子 直之，森村 尚登  
欠席理事：井上 貴昭，溝端 康光

## 1. 2025年度第1回理事会議事録(案)の確認

渡部広明代表理事より修正事項があれば事務局まで申し出るよう要請があった。特に指摘はなく、そのまま承認となった。

## 2. 会務報告

水島靖明庶務担当理事より、2025年8月31日現在の会員状況が報告された。新入会者計74名の入会が審議され、自動退会候補者52名については、会費納入の声掛けを継続することとした。

3.

4.

## 5. 委員長・担当理事について

渡部広明代表理事より、下記委員長・担当理事が推薦され承認された。

倫理委員会	担当理事	加地 正人理事
利益相反管理委員会	委員長	井口 浩一理事
多施設臨床研究委員会	委員長	森下 幸治理事

## 6. 外傷診療における院内救急救命士の在り方に関する検討委員会（仮称）設置について

森下幸治理事より、医療機関において救急救命士を雇用し、救急外来等で活躍するケースが増えている。外傷診療における医療の即応性・安全性向上に寄与する可能性が高いが、業務範囲の曖昧さや法的制約、導入効果の定量的評価が少ないといった課題があるので、あらゆる効果や比較の為に委員会設置を提案し承認された。委員会名は「外傷診療における院内救急救命士の業務検討委員会（仮称）」となった。他学会との兼ね合いがあるので、連携して進めることになった。

## 7. 各種委員会報告および活動計画

### 1) 評議員選出委員会

原義明委員長より、緩和措置が2024年度に廃止されたことにより、定款細則第2条：日本外傷学会外傷専門医資格取得者であることを原則とする中で、専門医ではない評議員の再任可否について議論された。審議の結果、「原則」に基づき、更新申請における再任の際に限り専門医資格未取得者が再任できることになった。

### 2) 会則委員会

報告事項は特になし

### 3) 編集委員会

渡部広明代表理事より、溝端康光担当理事の代理として、2025年第39巻1～4号掲載予定数やJ-STAGEアクセス数、投稿規定等について報告があった。

### 4) 用語委員会

報告事項は特になし

### 5) トラウマレジストリー検討委員会

加地正人担当理事より、JTDBのデータ入力に関する制度について精力的に委員会で議論していると報告された。

### 6) 外傷診療施設評価委員会

渡部広明委員長より、サイトビジットの結果をもとに判定審議を行い、判定保留1施設、SSS評価12施設、SS評価7施設、S評価29施設が承認された。今回のサイトビジットに伴い、AISのコーディングに大きな問題があるケースが確認された。これを受けて、第40回日本外傷学会総会・学術集会では、セッションを開催することになった。また、トラウマレジストリー検討委員会とJTDBのAISコーディングの適正化に関する連携をとり、改善への取り組みを行うことになった。

### 7) 外傷研修コース開発委員会

横堀将司委員長より、2025年度のJETEC実施状況について報告があった。2026年度は日本医科大学付属病院と大阪けいさつ病院で開催されることが承認された。物価上昇により宿泊費が2万円を超えることがあるため、宿泊規定を見直すことになった。

### 2025年度活動報告

第25回 日時：2025年6月22日(日) 9：00～17：30

会場：国立国際医療センター 受講者数：24名

第26回 日時：2025年9月14日(日) 9：00～17：30

会場：大阪けいさつ病院 受講者数：24名

### 2025年度活動予定

第27回 日時：2025年12月21日(日) 9：00～17：30

会場：大阪けいさつ病院

第28回 日時：2026年3月8日(日) 9：00～17：30

会場：国立国際医療センター

### 8) 臓器損傷分類委員会

金子直之担当監事より、10月11日・12日に委員会を開催されると報告された。

9) 倫理委員会

報告事項は特になし

10) 利益相反管理委員会

報告事項は特になし

11) 多施設臨床研究委員会

報告事項は特になし

12) 専門医制度委員会

船曳知弘委員長より、外傷認定指導医認定に向けて委員会を発足されると報告された。しかし、申請資格が煩雑ではない為、専門医認定委員会が実質的な業務を行うことが承認された。委員に渡部広明委員が退任され、吉村有矢資格試験作成委員長が就任することが承認された。

12-1) 研修カリキュラム委員会

井上潤一委員長より、より良いカリキュラム改定にあたり委員会で議論されたためざす方向性が報告された。

12-2) 専門医認定委員会

報告事項は特になし

12-3) 資格試験作成委員会

報告事項は特になし

12-4) 専門医研修施設認定委員会

水島靖明委員長より申請を受け付けていると報告された。

13) 保険委員会

井口浩一委員長より、令和8年度診療報酬改定において、日本呼吸器外科学会がヒアリングを行ったと報告された。

14) 損保助成金事業対象施設選考委員会

報告事項は特になし

15) 国際委員会

森下幸治委員長より、7月14日(月)にCoimbra氏の講習会を行ったことが報告された。参加者は70名程度であり、引き続き講習会を企画する。

16) 会員制度検討委員会

報告事項は特になし

17) 広報・ICT 委員会

原義明委員長より、学会ホームページを2026年3月にリニューアル公開を目指すことが報告された。新ホームページではeラーニングのシステム構築も視野に入れている。

18) マスギャザリングイベント対応委員会

報告事項は特になし

19) インド外傷センター協力支援合同委員会

報告事項は特になし

20) 外傷治療ガイドライン作成委員会

横堀将司委員長より、工程表や組織構成等について報告された。CQが決定し検索式の構築、論文検索、スクリーニングが進んでいる。各CQの進み方に差があることが課題とされた。第40回日本外傷学会総会・学術集会では、セッションを開催することになった。

21) 国内外傷診療研修制度委員会

渡部広明担当理事より、2025年度の応募者2名が承認されたことが報告された。2026年度は早期に募集を開始し通年での研修実施の是非を模索していく。

8. 第40回日本外傷学会総会・学術集会の件

会期：2026年6月11日～6月12日（予定）

会場：大宮ソニックシティ

会長：井口 浩一（埼玉医科大学総合医療センター外傷センター）

テーマ：Harmony in diversity

9. 第41回日本外傷学会総会・学術集会の件

会期：2027年5月27日～5月28日

会場：出雲市（予定）

会長：渡部 広明（島根大学医学部附属病院高度外傷センター）

議長 渡部 広明

議事録署名人 代表理事 渡部 広明

監事 金子 直之

監事 森村 尚登



## 論文を投稿される方へ

日本外傷学会雑誌へ投稿される論文はすべて、編集委員長がその論文の内容から適切と考え、ご依頼申し上げる3名の査読者により厳正に審査されます。審査の過程で著者と査読者の間で数回の文書の往復があるのは通常のことです。しかし、もし著者の主張と査読者の主張がどうしても相容れない場合は、本誌編集委員会は「編集委員長へのアピール」として著者の主張を受け付けることにいたしました。その際は、「日本外傷学会編集委員会委員長へのアピール」と明記のうえ、主張されるところを本学会事務局へメールまたは郵送にてお送りください。

一般社団法人 日本外傷学会  
編集委員会委員長 佐々木淳一

## 事務局からのお知らせ

### 【年会費について】

年会費はその年度内にお納めいただけますようお願いいたします。なお、2年間滞納しますと自動退会となります。

### 【住所変更について】

住所変更フォームよりお申し込みください。

<https://x.gd/53EJK>



※フォームをご利用になれない場合は事務局までご連絡ください。

1. 会員番号は本会からの郵便物宛名の下のアルファベット-4桁の数字（例、K-0246）となります。
2. 氏名、勤務先、自宅連絡先は省略せず、正確にご記入ください。

### 【バックナンバー販売について】

日本外傷研究会誌および日本外傷学会雑誌のバックナンバーの購入をご希望の方は、日本外傷学会事務局にお申し込みください。在庫がある場合は販売いたします。定価2,200円（本体2,000円＋税10%）です。

上記事項のお問い合わせは、日本外傷学会事務局までお願いいたします。

〒169-0072 東京都新宿区大久保2-4-12

新宿ラムダックスビル

(株)春恒社 学会事業部内

TEL 03-5291-6259 FAX 03-5291-2176

E-mail [jast@shunkosha.com](mailto:jast@shunkosha.com)

URL <https://www.jast-hp.org/>

## 日本外傷学会 入会のご案内

1. 入会フォームよりお申し込みください。  
<https://mypage.sasj2.net/site/jast/signup>



2. **年会費：10,000円**  
以下の口座まで会費の納入をお願い申し上げます。

ゆうちょ銀行 00160-8-412578

その他銀行 ゆうちょ銀行 ○一九（ゼロイチキユウ）店  
当座 0412578

口座名義 一般社団法人日本外傷学会  
(シヤ) ニホンガ イショウカ ッカイ

※個人の特定のため、お振込み名義は入会申込者名（フルネーム）としてください。

※当学会の会計年度は、4月1日から翌年3月31日までです。

例えば3月に入会した場合、3月は本年度の年会費をご納入いただき、4月以降、次年度の年会費を新たにご納入いただくことになります。

評議員や専門医への申請の際、会員歴を審査の対象とする点をご考慮の上、ご入会くださいますようお願い申し上げます。

※年会費納入をもって正式入会となり、お納めいただいた日が「入会日」となります。

日本外傷学会ニュースレター  
January 2026 No.37  
2026年 1 月20日発行

編集兼発行 一般社団法人 日本外傷学会  
〒169-0072 東京都新宿区大久保 2-4-12  
新宿ラムダックスビル  
株式会社春恒社 学会事業部内  
TEL：03-5291-6259 FAX：03-5291-2176  
E-mail：jast@shunkosha.com  
URL：https://www.jast-hp.org/

# 日本外傷学会雑誌40巻1号（オンラインジャーナル） 発行のお知らせ

2026年1月20日に、日本外傷学会雑誌40巻1号（Journal of the Japanese Association for the Surgery of Trauma, Vol.40, No.1）が、オンラインジャーナルとしてJ-STAGE（科学技術情報発信・流通総合システム；独立行政法人科学技術振興機構）に公開されました。

J-STAGEへ掲載された論文は会員以外の方にも閲覧可能となっております。今後はより多くの臨床医・医学研究者の方が本学会雑誌の論文を目にすることになりますので、益々多くの論文をご投稿くださいますようお願い申し上げます。

〔日本外傷学会雑誌オンラインジャーナル〕

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jjast/-char/ja/>

一般社団法人 日本外傷学会  
編集委員会委員長 佐々木淳一

## 目次

### 臨床検討

病院前骨盤固定の現状調査と適応に関する考察

..... 山梨県立中央病院整形外科 岩瀬 弘明, 他... 1

膝窩動脈損傷治療からみる“code limb ischemia”による手術室入室時間短縮効果

..... 湘南鎌倉総合病院外傷センター 伊澤 雄太, 他... 7

### 症例報告

臀部打撲を契機に発症した小腸脱出を伴う直腸穿孔の1例

..... 飯塚病院救急科 井上 聡, 他...12

小児外傷性 Spigel ヘルニアの1例

..... 一般財団法人太田総合病院太田西ノ内病院小児外科 町野 翔, 他...18

膀胱損傷合併が疑われた外傷性外陰部血腫の1例

..... 日本赤十字社和歌山医療センター救急科・集中治療部 福島 雅郁, 他...25

頭部外傷と骨盤骨折による後腹膜出血に偶発的低体温症を合併し救命できなかった1例

..... 和歌山県立医科大学附属病院高度救命救急センター 近藤 維, 他...30